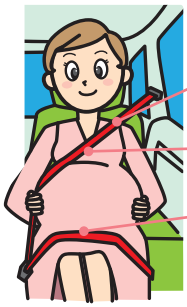
シートベルトの正しい着用法

シートベルトは正しく装着すると交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減できます。

- シートの背は倒さずに、シートに深く腰掛ける。
- 体を斜めにせず正しい姿勢をとる。
- 肩ベルト（三点式ベルトの場合）は、首にかからないようにする。また、肩ベルトがたるまないようにする。
- ベルトがねじれないようにする。
- バックルの金具は確実に差し込むようにする。
- 腰ベルトは骨盤を巻くように、しっかり締める。

妊娠中のシートベルト着用法

シートベルトを正しく着用することにより、交通事故の被害から母体や胎児を守ることができます。ただし健康保持上、シートベルトの着用が適当かどうかを医師に確認しましょう。



- 腰ベルト・肩ベルト共に着用する。
- 肩ベルトは首にかからないようにする。
- 肩ベルトは胸の間を通し、腹部の側面に通す。
- 腰ベルトは腹部のふくらみを避け、腰骨のできるだけ低い位置を通す。

チャイルドシートの使用法

６歳未満の子どもを車に乗せる場合は、必ずチャイルドシートを取扱説明書などに従って、正しく使用しましょう。事故の被害を軽減するほか、子どもが運転操作を妨げることを防止できます。

- 子どもの体格に合うものを使用する。
- なるべく後部座席で使用する。（助手席エアバッグ装備の場合）
- 座席に確実に固定する。

※やむを得ず助手席に設置する場合は、座席をできるだけ後ろに下げ、前向きに固定する。

後部座席シートベルト無しで衝突したら…

ＪＡＦによる衝突実験の様子です。後ろの席の人形が前の席の背もたれに衝突し、とても危険であることがわかります。

資料提供：ＪＡＦ（日本自動車連盟）